



初任務

おはよう、、、やはりみんなから無視されている、この中学に来てから5日目、でもこれは設定通り。

このクラスに配属されてからすぐにイジメを発見、すぐにホームルームで先生にチクッテ正義漢ぶっていじめっ子の反感を買うことから私の仕事は始まる。

今回のターゲットは、成績もよく裕福な家庭で育ち、アイドルを目指すはその容姿と歌唱力に多少コンプレックスを持つアイと言う少女だった。

文科省に戻った私はすぐに、小さなアパートと病弱な母、弟はホリプロにスカウトされていてレッスン中という設定でキャスティング、私自身も特殊メイクで少しいけてない感じにしてみた。

まだ弟の存在を知らないアイは、自分より何一つ勝っていない私が、事あるごとにはむかってくるので、他の生徒をイジめるエネルギーはすべて私一人に向う、すべて設定通り。

ある日アイは、私の弱点を探りに私の家にやってきたが、そこで弟役のタレントのケイに出会い恋に落ちてしまう。

お姉ちゃんは前の学校でイジメられてから友達が出来ないんで仲良くしてあげてくださいねアイ先輩。

2日後に私と弟はこの中学を後にするがアイはもう誰もいじめることは無かったという。

今回の経費はアパートとタレント二人、特殊メイクに心理学のアドバイザーなどでめて1,285,000円、政府の機密費から出してもらった。

私の名はキナコ、イジメ囮捜査官。

母の改心

このクラスにイジメは無かった。とても明るく素直な生徒ばかりで何も問題はないように思えた。

ただ見た目は金髪やタトゥ、ボディーピアスに濃いメイク等、とても真面目な生徒に見える生徒は一人もいなかった。

その中でサキは転校してきた私に最初に声をかけてきてくれた少女だった。

うち、親に虐待されてんねん、クラスの奴らに言うたら何するかわからへんやろ、あんた賢そうやしどう思う？

早速エージェントに調べさせた結果、彼女の言う通り実の母親から日常的に暴力を受けているようだった。

サキには私のアパートで少しの間暮らしてもらうことにして、その間にサキのお母さんには反省してもらうようプログラムを立てた。

ある日サキのお母さんの元に、かつてお母さんが入っていたレディースの歴代総長5人全員が訪ねてきて、最近お前の娘が暗い顔をしていることがあるけど、お前はちゃんと娘の事を見てあげているのかと尋ねた。

実際サキはレディースに入ってはいなかったが総長たちに一芝居打ってもらった。

かつて自分が所属していたチームのトップがそろってやって来た事の恐怖で今後娘をいじめると私は間違いなくこの人たちに殺されると母は思ったに違いない。

もうサキちゃん家に帰ってもええと思うよ、一週間後にサキを元の生活に戻した。

現役を退いていた総長たちの演出に使った改造バイク二台、改造レーシングカー二台、ベンツリムジン一台、歴代総長への謝礼、サキの仮住まいアパートの費用、合計852万円文科省あてで領収書をもっている。

私の名はキナコ、いじめ団捜査官。

悔い

また知らない子が私の席に座っている、先生も友達も誰も注意してくれない。友達？そんなのいなかったっけ。最近ハマるで私のことが見えていないみたいな扱い、誰もみな私のこと無視している。

あっキナコだ、あの子だけは私と話してくれる唯一の友達。キナコ久しぶり、キナコは元気だった？私はあれからもずっとこんな調子だよ。

うん私は元気だったよ、それよかさゆりまだ教室にいたんだね。あのねさゆり、私が初めてこの教室に来た日つまりさゆりがこの校舎の屋上から飛び降りた日以来みんなにはさゆりのこと見えてないんだよ、本当に。

うん解っているつもりなんだけど、それでもいつかはみんなとうまくやってけそうな気がしてここに来てしまうんだ。

ごめんね、私がもう少し早くこのクラスに赴任、じゃなくて転校してくれば、さゆりは死ななくてもすんだかもしれないのにね。

いくら悔いてもどうしようもないと分かっているけどこの季節になるとさゆりに会いに来たくなる。

蝉しぐれのなか校舎の片隅に花を手向けながら手を合わせた、また会いに来るねさゆり。

私の名はキナコ、いじめ囹捜査官。

プリンセス

やーいお姫さまー、何かお困りの事は御座いませんかー。今日も下駄箱のところで男の子にはやし立てられて姫は泣きだしたくなるのをこらえていた、もう子供じゃないんだから、中等部に入って姫は少し強くなっていた。

ただクラスのみみんなも大人になり他愛もない冷やかしかから政治色の強い批判めいたものが増えてきた。

姫はいつから民間人になるんだい？それともこの国の女王になるつもり？そんな言葉をもう姫は耐えられなくなったある日、転校生がこのクラスに現れた、この学園に転校生は異例、みんな彼女に注目した。

彼女は旧財閥墨朋系の娘で名をキナコと名乗った、キナコは転校以来傍若無人に振る舞い、一部の生徒から熱狂的に愛されほとんどの生徒から嫌われた、その一部の熱狂的な信者は同時に姫に対し冷たい仕打ちをする生徒でもあった。

強い権力にひれ伏し弱い権力には徹底的につぶそうとする醜い心の者たちをキナコは許さなかった。

ある日キナコは醜い心の者たちを引き連れ城へ行き、この者たちにしばらくの間姫様と同じ暮らしを体験させてくださいと王様に頼んだ。

十数名の全員が予定の日を待たずに音をあげてしまった、監視と制約の中では誰一人我慢が出来なかったから。

姫、もう大丈夫だと思うよ、私はもう行っちゃうけど何かあったらまた来てあげるからね。

今回は王様のご厚意で経費はかからないと思っていたら後から政府に請求書が回ってきました、しっかりしすぎなんだよ宮内庁。

私の名はキナコいじめ囹捜査官。

姫救出劇舞台裏

なんなの、この学園の男子は、学力体力、ルックス。

全員退学です、いいですね、理事長。

それでもまだ不穏分子はなくならなかった。

大人たちの詭弁に満ちた政治を私たちの手に取り戻すのよ、先ず身近な大人、教師から切ってくださいませ。

政治や宗教、特別な団体、それらにかかわっているすべての教師、首です。

いいですね理事長。

ここで理事長も消えた。

教師の数が半分になり、生徒の数が三分の一になった頃、キナコの計画は第二ステージに移った。

給食はコース料理、掃除は業者に任せて、授業は一流の講師、家と学校は送り迎えのリムジン、気が向かない日の授業はキャンセル、即バカンスに変更、授業中の飲食居眠りは教師の責任、つまらない授業をする教師は即首。

そうした政策で首になった教師や有能な生徒を新しく創設した学校で一部を吸収したうえで今回の対策は実行された。

マスコミ対策はいらない、初めからこの学園は守られているから。

しばらくすると革命のシンボルキナコと旧体制の姫、図式が出来上がってきた。

でもこれは作戦計画通り、キナコは一人うなずいていた。

少しやり過ぎた、自分の臭いで頭がぼーっとしてきた。

このクラスに赴任することが決まってから風呂、シャワーを絶って5日目の今日やっと転校手続きを終え初登校。

気合いを入れて朝からペペロンチーノニンニク増量で吐息のパンチも効かせておいた。

自己紹介で私が前の学校でいじめを受けてこの学校に転校してきたことをカミングアウトして見たら、早速頭の悪そうな男子生徒シンジから、てめー臭えーんだよと正当な評価が下された。

次の日から私は臭子と呼ばれた、すべては計画通り。

調子に乗って次の日も風呂なしキムチ鍋で登校したが自分の臭いでついに気を失ってしまった。

気がつくとは私は保健室で寝かされていた、保健室の窓は全開にされ可能な限りたこ足配線されたコンセントの先に消臭プラグが刺さっているのを確認していると、バカシンジがやってきた。

臭子、お前マジで臭いからなんとかしたほうがいいって、バカシンジは米軍払下げのガスマスクをしながら筆談してきた。

シンジは帰りがけにスパワールドのタダ券を二枚見せて今度の日曜連れて行ってやると言って出て行った。

成り行きでスパワールドに行き、におい消しのつもりか無理やり牛乳を飲まされ、最後にお前には俺がいないとだめだとコクられた。

バカシンジ、あんたには悪いけどこれで私の任務は終了、誰にでも優しくしてやりなよ。

私の名はキナコいじめ囹捜査官。

優しい先生

キナコ、気をつけなよ、あいつロリコンでこのクラスのヒナって子に毎日メール送ったりなんだかんだ言って呼び出したりしてるらしいから。

忠告ありがとう、でもキナコはあいつの事嫌いじゃないよ、優しそうだし、あっ先生後で職員室行っていいですか、この学校の事少し分らないことがありますから。

だめじゃんキナコ自分から行ってどうするよ、どうなっても知んないからね。

1週間もすると先生は毎日メールを送ってきたり自宅に遊びに来るように誘って来た。

そして今日学校の放送室に行き先生のくれたメールを読み上げて、この間先生のうちに招待された時のビデオを流した。

ビデオの場面が終盤になり私が先生の家を泣きながら出てゆく頃には、職員室を埋め尽くす生徒の警号の中に先生のキナコーと叫ぶ声がかすかに聞こえた。

ヒナちゃんもう大丈夫だと思うよこれからは優しい先生には気をつけなきゃね、お互いにさ。

私の名はキナコ、いじめ囹捜査官。

最近は仕分け人の目もあってあんまり経費使えないんで体張ってます。

ipod ?

授業中なに聴いてんだお前は、キナコの耳から垂れていた白いコードを引き抜き教師はキナコをにらんだ。

コードを抜かれたキナコはニコリと微笑んで、大丈夫、ノイズキャンセルかけてるから先生の声は聞こえて無かったよ。

教師の怒っている表情で少し反省したキナコはコードの先を見せて、ごめんなさい、ほんとは何も聞いてませんでした、これはイヤフォンのダミーなんです、線だけの、つまり耳栓なんです。

そう言って途中でコードの切れているイヤフォンを机の上に放り出した。

送信機が没収されたので放課後本部にメールで確認したら、やっぱりあの教師が今回のターゲットだった。

私の名はキナコいじめ団捜査官。

覚醒

絶対、絶対防衛省の奴に決まっている。

この前久々に防衛省に遊びに行った時にあんまり楽しかったんで夜遅くなって泊っていくことになったけど、その日以来一日中蝉は鳴いているし蚊は飛んでいるし人はしゃべっているし心の叫びは聞こえてくるし。

全てが変わっていた、あの日以来。

そういや、帰り際に奴らがやけに愛想よかったのが気になる。

だから、キナコ解ってくれよ、今世界中でお前と同じ能力を持った人間は5人、軍の人間が3人で情報を制限した装備が2人、アラブの王様だ。

モルモットなんかじゃないって、ちゃんと瞬きの練習さえすれば大丈夫だって。

あのね私はドライアイなの、そんなに器用に瞬きが出来ないの。

わかったよ、1週間、1週間だけやって見て、ダメだったら外すから。

ため息とともに瞬きを2回、スイッチが入ったキナコの目には、陸軍大佐、大川治郎58歳現在独身、出身校マサチューセッツ工科大学、趣味磯釣り、、、。

ああーもうわかったよ、とキナコは瞬きを3回続けてスイッチを切った。

五つの色

軍の人も、アラブの王様も装着されていないのが5Cという装備、拡張現実のオプション機能で対象となる人物の精神状態が色で認識できるというもの。限定品に弱い私は結構この装置が気に入っている。

赤は喜び、紫は怒り、青は悲しみ、黄は楽しさ、そして見たくない色が灰色、それは鬱を表す私の一番嫌いな色。

今日は皆さんと共にこのクラスで学ぶ事になった天井キナコさんを紹介します。

私は教壇に立ち自己紹介を終えてゆっくりとみんなにお辞儀をした、瞬きを2回してゆっくりと頭をあげるとそこには赤やら黄色やら、中には薄い青色の子もいたけどたぶん大丈夫だと思う。

ほっとして振り返って先生のほうを見ると先生は真っ黒に塗りつぶされ見えなかった。

ねえリツ子、先生なんだか元気ないみたいだけど、どうしてだか知ってる？

あのね、はっきりはわかんないけど、先生よく顔とか腕にあざ作っててね、転んじやったとか言ってるけど、みんなは彼氏に殴られてるんじゃないっ？て噂だよ。

早速行きつけの特殊機械製作所に単機能吸着型拡声器を発注、音声スイッチは先生の声で、やめて、をサンプリングして再生音は教室の黒板を爪で引っ搔いてサンプリングした、音量はMAXで設定終了。

今回は耳かきの先に装着36度前後の物体に10秒以上触れることで耳かきから放出され鼓膜に癒着されるようにプログラム。

準備完了。

先生、この間すごいパワースポットに行ったとき見つけてきたんだけど、この耳かきで彼氏の耳掃除してあげたら彼氏がすごく優しくなるって、いっぱい買って来たから先生にもあげるよ、ただし自分には絶対使ったらだめだよ霊力が無くなるからね。

ある日、教室で授業中に何人かが「おしゃべりしていると、先生が大声でコラ！おしゃべりはやめて！」といった瞬間、いつもは目立たない男子のヒロトがギャーと叫んで、その耳からは黒板の引っ搔く音が鳴り響いていた。

そりゃないよ先生、真っ黒に見えても仕方ないよ。

私の名はキナコ、いじめ囃捜査官。

彰人

てめえ、転校そうそう生意気なんだよ。

ピンポン球を口にくわえさせられて、両手を後ろ手に縛られた私は彰人を睨んでいた。

なんだてめえ、よだれだらだら流しやがって、狂牛病じゃねーの、お前らこいつ殺処分にしといて。

彰人の時事ネタにそうそう付き合ってもらえないんで、ピンポン玉を噛み砕いて彰人にはきだして、ザコの二人はひざ蹴りで眠ってもらった。

楽しかったよ彰人、次行ってみようか。

彰人を連れて事務所に帰ったら、みんな黒服でお出迎えしてくれた、姫、お友達ですか？

いいえ、こいつはいじめっ子。

坊主一寸こっち来いって彰人が連れて行かれたんで、殺しちゃだめだよ～って言ったら、彰人泣きだしてこっち見てた。

わかった？彰人あんたより強い物がこの世にはいっぱいあるって事。

今回も経費節約のため、事務所の人達は全て本物の人をお願いいたしました。

彰人ここに就職したらだめだよ。

私の名はキナコいじめ囃捜査官。

守るべきもの

ある日私の家の近くにお気に入りの黄色い自動車がとまっていた。

あくる日も同じ所に停まっていたので、こんなところに止めている持ち主に腹が立った。

三日目もその車はその場所に止めてあり、私はその車も嫌いになった。

三日で変わる私の気持はなんなんだろう。

何のためにこの仕事をしているの、誰のために？

守っている？本当に？

救っているんじゃなくて、救われている私が居るだけ。

全ての事がむなしくなったから、中島みゆきの、ファイト、を聴いて寝ることにした。

可変態臓器移植型手術

キナコさん、先生の顔が解かりますか。

ぼーとした視界から白衣を着た医者らしい姿が見えてきた。

あー、私まだ生きていたんだ。

見た事もない母さんや父さんに会ってみたくなくて、ふと校舎の屋上から私は飛んだんだ。

意識は朦朧としているけれど、体の痛みは少しも感じない事に私は違和感を覚えていた。

数日後看護師がふざけた調子で、この手術でキナコさん少し太ったかも知れませんよって言われて、体重計に乗ったら測れなかった。

担当医に聞いたら体重は320キロあるらしい。

少しずつ解かって来た、私が私と呼べるのは私の脳だけ、後はロボット。

可変態臓器移植型手術、世界で初めての成功例が私。

この病院での私のニックネームは変態一号。

そのネーミング、こいつら絶対に許さない。

エピソード0 漠庵

寺のような建物に漠庵と入口に書かれてはここが生体ロボットの研究施設とは誰もが気付かないだろう。

ある朝職員が門の前に置き去られた生まれて間もない女の子を見つけた。

寺と間違われて捨てられた女の子には希無子ですよろしくお願ひしますと書かれた紙が添えられていた。

希望の無い子では不憫なのでキナコとして姓は天井とし、厚労省に戸籍を作ってもらい、年齢を18歳サバを読み19歳とした。

実年齢が2歳になり戸籍上は二十歳になったキナコは、当研究所に於ける実験には全面的に協力する旨を綴った契約書にサインをした。

何も知らずに漠庵から中学2年まで通ったある日キナコは校舎の屋上から飛んだ。

心肺停止状態のキナコは漠庵で手術を受け世界で最初の可変態臓器移植ロボット、いや人間として生まれ変わった。

退院後、漠庵所長の勝手な誤解からいじめ撲滅のために働くことになったキナコ、後ろ盾は日本国政府、何をどうするかはキナコ次第。

ブログ

あんたなんか、誰も好きじゃないよ。

いい子ぶるのはもうやめたら。

初めはこんな書き込みから始って、最近はもっとひどくなってきているらしい。

サキ、これから私があんたの代わりをしてあげるからね。

サキはクラス委員を務める成績優秀な美少女、誰もが憧れる存在、ねたまれるのは仕方ないけどちょっと度が過ぎてきたんで私が彼女を上回る成績優秀で美少女キャラになり、同じようにブログを始めた。

見事につられてきたのはこの学校で万年成績2位のケイコ、各所に手をまわしてあったので発信源の特定はすぐに出来た。

ただ書き込みの時間がいつも学校の授業中、つまり、その時間に書き込めるのはケイコのお母さんだけ。

早速ネット警察に出向いてもらって話を聞いてもらった。

娘より勝っている生徒が許せなくての犯行だったらしいけど。

お母さんや学校に内緒でバイトしてるキャバクラでは、ケイコはいつもナンバーワンだから安心してね、お母さん。

私の名はキナコ、いじめ囮捜査官。

あんこ

その犬をこちらに渡しなさい。

本能的に身の危険を感じたのか野良犬あんこは私の腕の中から身をよじて逃げ出した先は3階の教室の窓だった。

あんこは学校に住み着いた野良犬で、茶色の巻き毛があんこを想像させる愛らしい犬だったが犬嫌いにとっては、半ば公然と学校に住み着いているこの犬の存在が許せなかったのだろう、ある日保険所の人間があんこを捕獲しに来たのだった。

私はあんこを抱え逃げたが3階の教室の窓際まで追い詰められた瞬間、悲劇は起こった。

ねえ、おやっさんなんとかなる？

もちろんなんとかするよ、キナコ。

翌日、私には抱えられない重量になった、原子力エンジン搭載のあんこに私は対面することになった。

軽量化

私もあんこも体重だけがネックだった、だってふざけて持ち上げようとされても、持ち上がる体重じゃないもんね。

2年の歳月はおっちゃんの研究に飛躍的な成果を与えてくれた。

私42キロ、あんこ12キロ、見た目通りの体重になった私たちは少し泣いた。